

1. すべての単語がクラスに属する。

テキスト P.83

Lesson1→クラス 1

Lesson7a→クラス 3、7

・クラスごとに属する単語には以下の特徴がある。

意味

Lesson1 : クラス 1 の単語 (人を表す単語)

Lesson3ab : クラス 5 の単語 (外来物・動物・道や町、腕や口など全体の一部分を指す単語)

Lesson 5 : クラス 4 の単語 (例: 学校・病院・薬・食べ物)

かたち

テキスト P.83

Lesson1 : クラス 1 の単語 (単数「mo~」/複数「ba~」)

Lesson3ab : クラス 5 の単語 (単数「-」/複数「di~」)

Lesson 5 : クラス 4 の単語 (単数「se~」/複数「di~」)

文法

テキスト P.83

(例: L.P. 主語と動詞の間にくるもの。Monna o rata Botswana.)

Lesson1 : クラス 1 の単語 (L.P. 「o」/複数「ba」)

Lesson3ab : クラス 5 の単語 (L.P. 「e」/複数「di」)

Lesson 5 : クラス 4 の単語 (L.P. 「se」/複数「di」)

2. クラスに属さない

	単	複数
わたし	Ke	Re
あなた	O	Le
彼・彼女	O	Ba

*L.P.考えなくていい。(例: Ke rata Botswana.)

*it, they はクラスによって変わる。(例: 牛 kgomo/それ E/それら Di)

3. Lesson 1 の課題

①疑問文 文頭に「A」をつける。

4. Lesson7 に進むまでに復習すべきこと

①未来形 テキスト P.29

Lesson 6

- ・未来型(will)→「tla」を動詞の前に入れる。

例 Ke tla ya Gaborone kamoso. (明日ハボロネに行く)

②可能

- ・可能 (can) →「ka」を動詞の前に入れる。

例 Ke ka thusa wena. (あなたを手伝える)

(cannot) →「palelwa ke」を動詞の前に入れる。

例 ke palelwa ke go thusa wena tsatsi-jeno. (今日あなたを手伝えないよ)

Yuri o palelwa ke go tima Mika dijo. (ゆりはミカにご飯を分けないなんてできない)

③否定形

Lesson 4a テキスト P.21

- ・否定形①

クラスに関係ないものが主語の場合 (私・あなたなど)

—【Ga+主語+動詞 (語尾を a から e にする)】

例 Ke rata Botswana.→Ga Ke rate Botswana. (私はボツワナが好きでない)

クラスに所属する単語が主語の場合

—【主語+ga+LP+動詞 (語尾を a から e にする)】

例 Kgosi e rata Botswana.→Kgosi ga e rate Botswana.(コシはボツワナが好きでない)

Lesson 4b テキスト P.23

- ・否定形②

クラス1単数に所属する単語が主語の場合

—【主語+ga+LP (o から a にする) +動詞 (語尾を a から e にする)】

例 Yuri o rata Botswana.→Yuri ga a rate Botswana.(ゆりはボツワナが好きでない)

④前置詞

Lesson 4b テキスト P.21

- ・場所の前置詞：そこにいるとき—mo/いないとき—ko

Ke nna mo Gaborone. (ハボロネで言う)

Ke nna ko Gaborone. (マウン<ハボロネ以外の場所>で言う)